



《会長の時間》

会長 池田 文治

本日の会長の時間は 映画のプロデューサーであり、小説家の「川村元気氏」について、お話ししたいと思います。

川村元気氏が企画・プロデュースした、長編アニメーション映画『君の名は。』は、興行収入194億円を超えて、まだまだ伸び続けています。小説家としては発表した3作目にして初めての恋愛小説、『四月になれば彼女は』（文藝春秋）が、発売1カ月にて10万部のベストセラーとなっているそうです。インタビュー記事より抜粋してご紹介したいと思います。

川村氏は小説を「作り方から作りたい」と思っているそうで、今回はテーマから考え始めたようです。ところが出版社の人や周りの人は「今、大人の恋愛小説って売れないよ」と口々に言ったそうです。

彼は逆に、面白みを感じました。なぜ、皆が当たり前のように「恋愛小説が売れない」と言うのだろうか。恋愛小説というのは一大ジャンルなのにもかかわらず。

そこで、取材を始めました。30～50代の男女およそ100人に「今、どのような恋愛をしていますか」と尋ねたのです。すると、驚愕の事実が発覚しました。熱烈な恋愛をしている人がほとんどいなかったのです。

当初、3～4割の人は恋愛をしているだろうと予想していました。それが1割にも満たなかった。恋愛小説が売れない理由が分かりました。そもそも、恋愛をしている男女が少なかったのです。

今の時代、男性と女性が恋愛をしているという前提は、ファンタジーにすぎない。そこで「恋愛感情を失っていく恋人たちがどう寄り添っていくのか」を描けば、現代のリアルな恋愛小説になると考えたのです。

『四月になれば彼女は』の小説はサイモン&ガーファングルの楽曲の題名から引用され、モチーフにしたものだそうで、原題は「**April Come She Will**」（1965）と言います。

この歌は、4月に恋人と出会い、5月に付き合い始め、けれども6月に様子が変わり……というように、男女の関係がそれぞれの月になぞらえて描かれていく。けれども、9月には突然、歌が終わってしまう。恋愛が成就し、それを失った後に、です。僕たちにとっては、そこから先に男女がどう生きていくかということの方が切実な問題なのに、ポール・サイモンは10月以降を歌わなかったのです。僕にはこれがミステリーでした。ならばと、自らが残りの半年分を歌いつなぐような物語を書こうと決めたのです。

主人公は精神科医の男性。その婚約者も獣医であり、2人はとても理性的なカップルです。恋愛感情は人間にしかないといわれており、医師である2人はそのメカニズムもよく分かっている。なのに、2人は結婚を1年後に控えてうまくいっていないという様子を描きました。



今回、精神科医10人以上に取材しました。この先生たち自身の恋愛はどうなっているのかと。尋ねてみると「いやー、実は妻と離婚しかけていて……」とか、「5年間、彼氏がいません」などとおっしゃる。さらに、「自分の抱えている障害や問題を治したいから、精神科医になった」とも。正直、先生たちも患者と同じ悩みを抱えているのかと気付いたわけです。

しかし、振り返ると僕たちも同じですよ。例えば、知人と飲みに行くと恋愛相談を受ければ、きっと正しいアドバイスができる。それなのに、自分の家に帰った途端、恋人や妻とけんかをしてしまう。誰もが他人の問題は解決できるのに、自分の問題は解決できていないという点で同じことなのです。

川村氏の考え方で面白いのはこんな話もあります。僕はいつも「ポストの上のクマ」を探しているのです。「郵便ポストの上に乗ったクマの縫いぐるみ」を気にしつつも、通り過ぎてしまう人々。ある日、いつも利用している駅のそばにおかしな光景がありました。赤い郵便ポストの上にクマの縫いぐるみが乗っていたのです。おそらく何万人もの目に触れたはずですが、誰も「あのクマ、おかしいよね」と口に出すことはせず、何日も無視して通り過ぎていました。

そのとき自分がやっている仕事はどういうことなのか、ということに気付いたのです。僕の仕事とは、その縫いぐるみを持ち上げ、「これ気になりませんか？」と叫ぶことなのではないかと。僕が声を出したそのとき、皆がこちらを見て「そう、そう。ずっと気になっていた」と言ったときに、僕の描いた物語が皆の物語になる気がしたのです。

私たちの活動も似たところが有ると思います。日常で皆が必要だと判っているにもかかわらず、流してしまう様な事を、探し手を挙げて実行する、皆と一緒に流してしまうとロータリーの活動にならないと思います。皆で「ポストの上のクマ」を探しましょう。

[幹事報告]

幹事 古川 真照

1、理事の交代について

- ・1月11日(水)の理事会で承認されました通り、理事交代について1週間公表しましたが理事会の決定に異論の意見が有りませんでしたので、細則に従い新任の理事を次の通り決定いたします。

森川会員の退会に伴い、青少年奉仕委員長の後任として、大東雅代会員が青少年奉仕委員会の委員長(理事兼任)に決定いたしました。☆理事会承認

2、3月25日(土)ロータリーデーについて

- ・ロータリーデーホストくずはRCが、開催されます。会員全員登録で行われます



ので、一人でも多くの出席者をお願い致します。来週までに出席の有無を回覧しますので記入をお願いします。

日時 3月25日(土) 13時～受付 13時30分開会
14時～基調講演 15時30分閉会
16時30分～交流会(出欠を取ります)

場所 枚方市立メセナひらかた会館 *京阪枚方市駅より徒歩6分
☆駐車場が少ないので、公共の交通機関をご利用下さい

内容 基調講演 桑山 紀彦 氏
世界の紛争 災害 貧困 地の子供達の映像と共に音楽で知ろうとする講演で、大変な感動が有ると言う事です。年間日本全国で200講演を、行なっている大人気の講演です！

3、4月18日(火)第3週目の例会について

- ・この日はガバナー補佐をお招きして、3クラブ合同で行います。曜日と時間が変更になりますので、お間違えの無いよう宜しくお願い致します！

日時 4月18日(火) 11時30分～

場所 市民会館4階の大会場にて(ホスト大東RC)

*19日(水)では有りませんので呉々もお間違えの無いようご注意ください!□

4、半期の会費の振込について

- ・今日現在で、まだ4名の納入しか確認されていません。今月の末迄に、極力納入をお願い致します！

●)) 先週の卓話 ((●



「 [大東志]塾の活動について 」

大東市市議会議員
一般社団法人大東志塾

代表理事 澤田 貞良 氏

大東市教育委員会は教育改革プランを打ち出し、教育現場が一丸となって努力頂いている。しかし、学力テスト結果では少し改善は見られるものの、大阪府下の中でも、厳しいのが現状である他地域との大きな教育(学力)格差がある事を、保護者や子供たちはほとんど知らないのか、知ろうとしないのか、学校に任せていたら何



日々子供たちは学校に通い学んでいます。（大東市の子供たちに幸せになってほしい）（私たちが取り組めることは何なのか）（何とかしたい、何とかしなければならない）と言う思いから、志を同じとする同志と共に学力向上は元より、心の成長もでき、大東市の未来を担ってくれる子供、（大東っ子）を育てていく寺小屋を設立したのが一般社団法人大東志塾です。

大東志塾は進学塾ではありません、塾に行きたくても行けない低所得の家庭環境の子ども達も助けていく塾です。さらに、他塾との違いである取り組みとして、大東市で活躍頂いてる企業のトップや僧侶による心の授業を展開しています、例えば、なぜこの世に生まれてきたのか、なぜ勉強しなければならないのか、幸せな日々はいつまでも続かない、今日一日を全力で生き抜く事の大切さなど、心の教育も実践しています。

塾運営には最低限の人権費や固定経費はかかります、だからこそ地域の企業や個人のサポートを得て、大手学習塾の授業料半額に近い価格で高品質な授業を提供する事ができています。

大東志塾のテーマである「地域の子どもは地域で育てる」という理念に賛同してくださる多くの方々の協賛や大東市を良くして欲しいと言う方の個々の思いによって、運営し三年目になります。

入塾テストの平均点が一桁の子どもに対しても決して諦めず、粘りつよく指導してきた事により毎年大阪府立高校に全員合格を実現する事ができました。

いよいよ来月は三期生の高校受験です。三年生全員高校に進学できるようスタッフ一同日々励んでいます。

大東市の未来の子ども達を育てている大東志塾に対して、皆様のご協力と寛大なるご理解を賜りますようお願い申し上げます。



R I 第2660地区2017-18年度
職業奉仕委員会より委嘱状
委員 青田 朝代 殿